



2021年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月2日

上場会社名 日本電気硝子株式会社
 コード番号 5214 URL <https://www.neg.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 松本 元春

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 森井 守

TEL 077-537-1700

定時株主総会開催予定日 2022年3月30日

配当支払開始予定日

2022年3月31日

有価証券報告書提出予定日 2022年3月31日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期の連結業績(2021年1月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	292,033	20.2	32,779	85.6	44,979	135.4	27,904	83.0
2020年12月期	242,886	5.7	17,660	8.6	19,109	24.3	15,252	

(注) 包括利益 2021年12月期 42,847百万円 (325.0%) 2020年12月期 10,082百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	290.98		5.8	6.6	11.2
2020年12月期	157.84		3.2	2.9	7.3

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	698,129	499,742	70.9	5,321.77
2020年12月期	658,139	476,920	71.7	4,886.10

(参考) 自己資本 2021年12月期 495,070百万円 2020年12月期 472,198百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	69,881	31,754	29,178	134,723
2020年12月期	47,861	19,759	7,739	121,215

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期		50.00		50.00	100.00	9,663	63.4	2.0
2021年12月期		50.00		60.00	110.00	10,414	37.8	2.2
2022年12月期(予想)		60.00		60.00	120.00		37.2	

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	160,000	12.4	18,000	17.4	18,000	21.1	14,000	3.4	150.49
通期	330,000	13.0	37,000	12.9	37,000	17.7	30,000	7.5	322.49

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期	99,523,246 株	2020年12月期	99,523,246 株
期末自己株式数	2021年12月期	6,495,982 株	2020年12月期	2,882,008 株
期中平均株式数	2021年12月期	95,898,604 株	2020年12月期	96,634,409 株

(参考)個別業績の概要

2021年12月期の個別業績(2021年1月1日～2021年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	154,144	34.0	25,505	378.9	36,042	218.4	20,447	45.1
2020年12月期	115,001	6.8	5,326	198.5	11,319	24.7	14,088	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期	213.22	
2020年12月期	145.79	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	577,704	423,252	73.3	4,549.77
2020年12月期	585,603	424,184	72.4	4,389.27

(参考) 自己資本 2021年12月期 423,252百万円 2020年12月期 424,184百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.経営成績等の概況(1)経営成績の概況の次期の見通しをご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2月3日に当社ホームページ(URL <https://www.neg.co.jp/>)にて開示します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

①概況

世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の流行が企業活動に影響を及ぼしたものの、各国政府の経済対策やワクチン接種の進展等を背景に回復軌道をたどりました。国内経済においても、海外経済が回復する中、企業の生産活動や設備投資については持ち直しの動きが続きました。

このような中、当期（2021年1月1日～12月31日）においては、年間を通してディスプレイ市場や自動車部品向け高機能樹脂市場の強い需要を背景に、主力の薄型パネルディスプレイ（FPD）用ガラスやガラスファイバの出荷が増加し、また、医薬用管ガラス等の出荷も堅調であったことから、売上高は前期（2020年1月1日～12月31日）を上回りました。

損益面においては、営業利益が前期を大幅に上回り、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても前期を大きく上回る実績となりました。

②当期の経営成績

	前期 (2020/1～2020/12) (億円)	当期 (2021/1～2021/12) (億円)	増減 (%)
売上高	2,428	2,920	20
営業利益	176	327	86
経常利益	191	449	135
親会社株主に帰属する当期純利益	152	279	83

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前期 (2020/1～2020/12)		当期 (2021/1～2021/12)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報	1,361	56	1,545	53	183	14
	機能材料・その他	1,066	44	1,374	47	307	29
合計		2,428	100	2,920	100	491	20

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(売上高)

電子・情報：

FPD用ガラスは、強い需要が継続する中、生産が好調であったことに加えて、第10.5世代サイズの出荷が当期より本格化し、販売は前期を上回りました。光関連・電子デバイス用ガラスは、家電や半導体、自動車部品向けの需要が堅調に推移し、販売は前期比で増加しました。

機能材料・その他：

ガラスファイバは、自動車部品向け高機能樹脂用途を中心に需要が旺盛であったことから、販売は前期比で増加しました。医薬用管ガラスも、世界的に旺盛な需要が続く中、感染症ワクチン容器向けの需要も加わり、販売は前期比で増加しました。耐熱ガラスは販売が前期比で増加し、建築用ガラスも底堅く推移しました。

(損益面)

営業利益については、原燃料費や物流費の高騰等が利益を圧迫する要因となったものの、これらのコスト上昇分の一部を製品価格に転嫁したことや、稼働率の上昇、生産性向上等により、前期を上回る実績を上げることができました。

経常利益は、営業利益の増加に加えて、海外子会社への融資に係る債権債務の評価替えによる為替差益を計上したこと等から、前期を大幅に上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、国内事業場の停電に伴う操業の一時的な停止や設備修繕等の費用を特別損失に計上したものの、営業利益及び経常利益の増加に加えて、投資有価証券売却益や2019年に発生した台風による国内生産設備の損傷に係る受取保険金を特別利益に計上したこと等により、前期を上回りました。

③次期の見通し

	2022年12月期 第2四半期連結累計期間 (2022/1～2022/6) (億円)	2022年12月期 通期 (2022/1～2022/12) (億円)
売上高	1,600	3,300
営業利益	180	370
経常利益	180	370
親会社株主に帰属する当期純利益	140	300

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

感染症は、変異株による感染拡大の再燃により依然として経済活動に影響を及ぼしていますが、各国でワクチン接種が進む中で、世界経済は緩やかに回復していくものと期待しています。一方、原材料や部材の供給不足、物流の混乱、更には原燃料価格や物流費の高騰等を懸念しています。

このような中、当社としては、生産や販売への影響を抑えるべくサプライチェーンの強化や費用管理の徹底を行うとともに、拡販と生産性の向上に努め、上記業績予想の達成を目指してまいります。

「電子・情報」分野においては、FPD用ガラスは、ディスプレイ市場の安定した成長を見込んでいます。中国廈門において生産設備の能力増強を進め、中国市場における大板サイズの需要を取り込んでいきます。光関連・電子デバイス用ガラスは、半導体、自動車等の注力市場において拡販と製品開発に取り組んでいきます。

「機能材料・その他」分野においては、ガラスファイバは、自動車関連市場向けを中心に安定した出荷を見込んでいます。医薬用管ガラスは、更なる生産性の向上に努め、旺盛な需要に対応していきます。耐熱ガラスや建築用ガラスは、新規顧客開拓等に努め、拡販に取り組んでいきます。

以上を踏まえ、当社グループの次期の見通しを上表のとおり予想しています。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化、感染症の流行などが含まれますが、これ以外にも様々な要素があります。

(2) 財政状態の概況

①当期の連結財務状態の概況

	前期 (2020/12末) (億円)	当期 (2021/12末) (億円)	増減 (億円)
総資産	6,581	6,981	399
負債	1,812	1,983	171
純資産	4,769	4,997	228

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(総資産)

当期末における資産合計は、前期末と比較して399億89百万円増加し、6,981億29百万円となりました。流動資産では、短期借入金の返済、自己株式の取得等があったものの、販売が好調であったこと等から現金及び預金が増加しました。

固定資産では、減価償却が進んだ一方で、FPD用ガラス事業を中心とした設備投資等により有形固定資産が増加しました。また、投資有価証券の一部を売却したことにより投資有価証券が減少しました。

(負債)

当期末における負債合計は、前期末と比較して171億67百万円増加し、1,983億86百万円となりました。流動負債では、借入金の返済により短期借入金が増加しましたが、稼働の上昇により支払手形及び買掛金が増加しました。また、償還期限が1年以内の社債が固定負債から流動負債に振り替わったため、1年内償還予定の社債が増加しました。

固定負債では、新たに借入を行ったことから、長期借入金が増加しました。

(純資産)

当期末における純資産合計は、前期末と比較して228億22百万円増加し、4,997億42百万円となりました。配当金の支払いや株主還元として自己株式の取得をしたものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が増加しました。また、通貨が円安に振れたことから為替換算調整勘定が増加しました。

②当期の連結キャッシュ・フローの概況

	前期 (2020/1~2020/12) (億円)	当期 (2021/1~2021/12) (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	478	698	220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197	△317	△119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77	△291	△214
現金及び現金同等物期末残高	1,212	1,347	135

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当期は、前述の経営成績を収めたことから、税金等調整前当期純利益を計上しました。また、稼働の上昇により仕入債務が増加しました。これらの結果、当期において営業活動によって得られた資金は698億81百万円（前期比220億19百万円の収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主としてFPD用ガラス関連設備の固定資産の取得により、当期において投資活動に使用した資金は317億54百万円（同119億94百万円の支出増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

新たに借入や社債の発行を行ったものの、株主への配当金の支払いや借入金の返済、自己株式の取得等を行ったことから、当期において財務活動に使用した資金は291億78百万円（同214億39百万円の支出増）となりました。

③キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期
自己資本比率 (%)	70.5	71.2	71.0	71.7	70.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	56.0	35.9	35.5	33.1	39.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.6	2.2	4.6	2.2	1.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	59.0	35.6	28.1	75.7	135.7

自己資本比率： 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率： 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率： 有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ： 営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

3. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を使用しています。また、有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち長短借入金、社債及びコマーシャル・ペーパー（流動負債 その他）を対象としています。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

(基本方針)

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けています。

株主の皆さまへの利益還元につきましては、業績の変動に大きく影響されることなく長期的に安定した配当を継続することを基本とし、株主資本配当率(DOE) 2%以上を目標に、業績、財務状況等を勘案しながら配当金額を決定しています。また、弾力的な還元策も実施してまいります。

(期末配当金)

1株につき60円とし、来る3月30日開催予定の定時株主総会に付議する予定です。これにより、1株につき50円の間配当金と合わせ年間配当金は1株につき110円（前期実績より10円増額）になります。

(次期配当予想)

中間配当金、期末配当金ともに1株につき60円（年間配当金は1株につき120円。当期から10円の増額）の配当を予定しています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準に基づく連結財務諸表及び個別財務諸表が経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況を示す上で適切であると判断し、日本基準を適用しています。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用については、日本基準のコンバージェンスの動向や経営環境等を踏まえ検討していきます。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	121,440	134,974
受取手形及び売掛金	58,558	59,579
電子記録債権	727	1,033
商品及び製品	35,317	32,045
仕掛品	2,359	1,340
原材料及び貯蔵品	23,186	28,714
その他	4,973	7,001
貸倒引当金	△163	△177
流動資産合計	246,399	264,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	163,576	176,477
減価償却累計額	△91,838	△98,324
建物及び構築物(純額)	71,738	78,152
機械装置及び運搬具	688,272	714,419
減価償却累計額	△438,447	△453,300
機械装置及び運搬具(純額)	249,825	261,119
土地	11,399	11,581
建設仮勘定	19,532	25,260
その他	22,560	23,511
減価償却累計額	△19,327	△19,344
その他(純額)	3,232	4,166
有形固定資産合計	355,727	380,280
無形固定資産	5,207	4,958
投資その他の資産		
投資有価証券	47,434	44,957
繰延税金資産	1,846	1,895
その他	1,543	1,541
貸倒引当金	△21	△17
投資その他の資産合計	50,804	48,377
固定資産合計	411,739	433,617
資産合計	658,139	698,129

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,501	42,539
短期借入金	47,019	24,910
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	1,533	8,704
事業構造改善引当金	1,269	129
事業場閉鎖損失引当金	864	14
その他の引当金	156	138
その他	24,230	31,498
流動負債合計	103,576	117,934
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	34,668	39,911
繰延税金負債	9,225	7,575
特別修繕引当金	9,341	8,670
事業場閉鎖損失引当金	—	294
その他の引当金	20	18
退職給付に係る負債	1,035	1,213
その他	3,350	2,767
固定負債合計	77,643	80,451
負債合計	181,219	198,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,310	34,294
利益剰余金	411,137	429,354
自己株式	△10,178	△20,120
株主資本合計	467,425	475,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,775	17,104
繰延ヘッジ損益	98	172
為替換算調整勘定	△14,101	2,108
その他の包括利益累計額合計	4,773	19,385
非支配株主持分	4,721	4,672
純資産合計	476,920	499,742
負債純資産合計	658,139	698,129

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	242,886	292,033
売上原価	191,429	209,781
売上総利益	51,456	82,252
販売費及び一般管理費	33,795	49,472
営業利益	17,660	32,779
営業外収益		
受取利息	710	831
受取配当金	1,102	1,178
為替差益	935	9,338
その他	1,682	3,218
営業外収益合計	4,431	14,567
営業外費用		
支払利息	587	504
休止固定資産減価償却費	1,228	357
固定資産除却損	480	973
その他	687	533
営業外費用合計	2,983	2,368
経常利益	19,109	44,979
特別利益		
投資有価証券売却益	2,592	1,994
受取保険金	376	1,422
特別修繕引当金戻入額	2,941	—
その他	561	—
特別利益合計	6,472	3,416
特別損失		
事故損失	1,525	6,998
減損損失	2,419	1,131
固定資産除却損	287	1,126
事業構造改善費用	1,336	—
その他	116	—
特別損失合計	5,685	9,256
税金等調整前当期純利益	19,896	39,139
法人税、住民税及び事業税	3,936	12,203
法人税等調整額	435	△1,298
法人税等合計	4,372	10,904
当期純利益	15,524	28,234
非支配株主に帰属する当期純利益	271	329
親会社株主に帰属する当期純利益	15,252	27,904

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	15,524	28,234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,371	△1,671
繰延ヘッジ損益	50	74
為替換算調整勘定	△3,153	15,852
持分法適用会社に対する持分相当額	32	356
その他の包括利益合計	△5,441	14,612
包括利益	10,082	42,847
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,810	42,517
非支配株主に係る包括利益	271	329

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	32,155	34,358	405,560	△10,258	461,815
当期変動額					
剰余金の配当			△9,663		△9,663
親会社株主に帰属する当期純利益			15,252		15,252
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△47		81	34
その他			△12		△12
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△47	5,576	80	5,610
当期末残高	32,155	34,310	411,137	△10,178	467,425

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	21,147	48	△10,981	10,215	5,123	477,154
当期変動額						
剰余金の配当						△9,663
親会社株主に帰属する当期純利益						15,252
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						34
その他						△12
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,371	50	△3,120	△5,441	△402	△5,844
当期変動額合計	△2,371	50	△3,120	△5,441	△402	△234
当期末残高	18,775	98	△14,101	4,773	4,721	476,920

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	32,155	34,310	411,137	△10,178	467,425
当期変動額					
剰余金の配当			△9,664		△9,664
親会社株主に帰属する当期純利益			27,904		27,904
自己株式の取得				△10,001	△10,001
自己株式の処分		△16		58	42
その他			△22		△22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△16	18,217	△9,942	8,258
当期末残高	32,155	34,294	429,354	△20,120	475,684

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	18,775	98	△14,101	4,773	4,721	476,920
当期変動額						
剰余金の配当						△9,664
親会社株主に帰属する当期純利益						27,904
自己株式の取得						△10,001
自己株式の処分						42
その他						△22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,671	74	16,209	14,612	△49	14,563
当期変動額合計	△1,671	74	16,209	14,612	△49	22,822
当期末残高	17,104	172	2,108	19,385	4,672	499,742

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	19,896	39,139
減価償却費	24,931	26,721
減損損失	2,419	1,131
受取保険金	△376	△1,422
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,592	△1,994
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	△2,525	△670
為替差損益 (△は益)	△769	△7,580
受取利息及び受取配当金	△1,813	△2,010
支払利息	587	504
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,442	4,730
棚卸資産の増減額 (△は増加)	20,208	1,324
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,390	13,333
その他	1,883	△1,089
小計	49,017	72,116
利息及び配当金の受取額	1,827	1,925
利息の支払額	△631	△514
保険金の受取額	376	1,422
法人税等の支払額	△2,727	△5,067
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,861	69,881
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	4,434	2,877
固定資産の取得による支出	△25,171	△35,058
その他	977	425
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,759	△31,754
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	116	△1,531
長期借入れによる収入	16,233	9,831
長期借入金の返済による支出	△3,048	△26,370
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△0	△10,001
配当金の支払額	△9,660	△9,662
非支配株主への配当金の支払額	△674	△353
その他	△705	△1,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,739	△29,178
現金及び現金同等物に係る換算差額	△124	4,559
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	20,238	13,507
現金及び現金同等物の期首残高	100,977	121,215
現金及び現金同等物の期末残高	121,215	134,723

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

新型コロナウイルス感染症は未だ終息には至らず、感染拡大の影響が引き続き懸念されるものの、当社グループの事業に著しい影響を与えるものではないと仮定し、会計上の見積りを行っています。

(セグメント情報)

当社グループのセグメントは、ガラス事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(1株当たり情報)

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

1株当たり純資産額 5,321円77銭

1株当たり当期純利益 290円98銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

親会社株主に帰属する当期純利益	27,904百万円
普通株主に帰属しない金額	－百万円
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	27,904百万円
普通株式の期中平均株式数	95,898,604株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。